

旭川市科学館報

— 平成28年度版 —

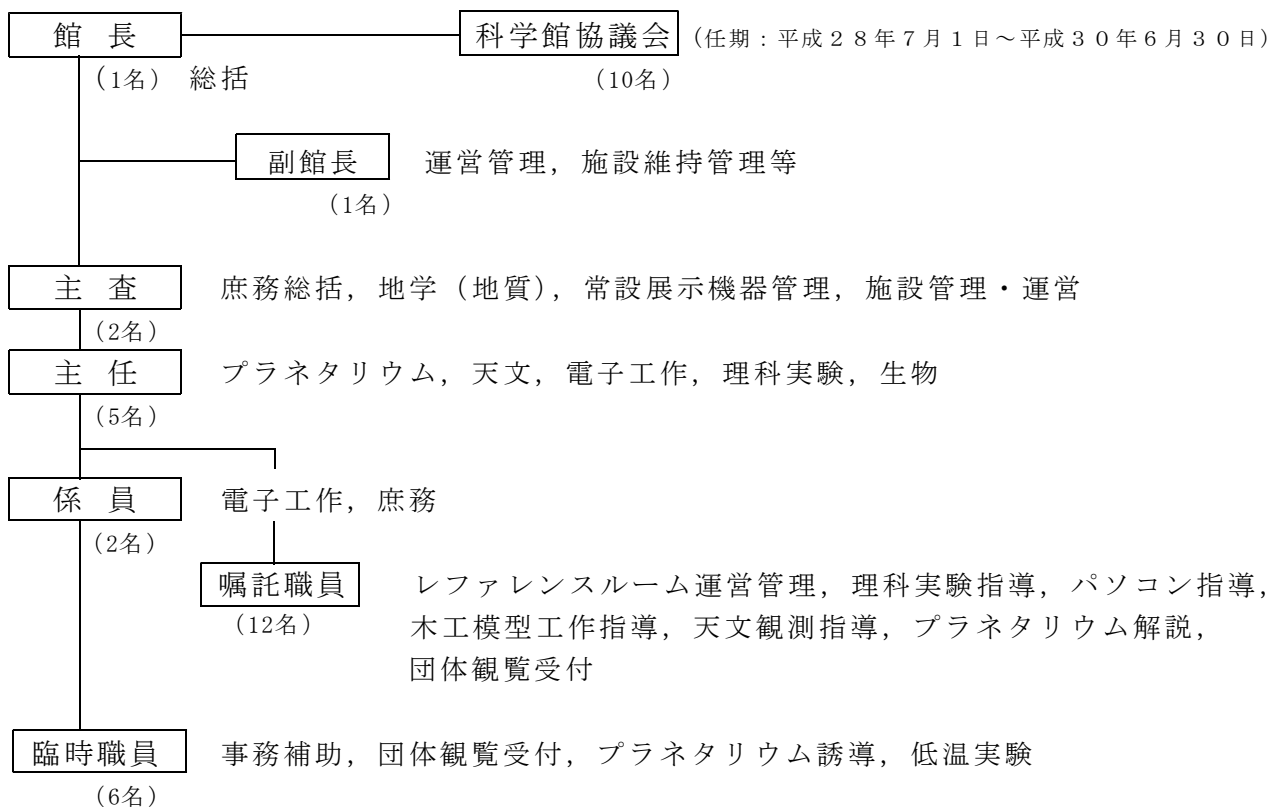
Vol. 9

平成29(2017)年

目 次

運営組織及び職員数	1
I 旭川市科学館の概要	
1 考え方	2
2 概要	2
3 沿革	2
4 施設の詳細	3
II 平成28年度事業活動報告	
1 利用状況	5
2 常設展示事業	6
3 特別展示事業	7
4 実験実習事業	8
5 天文普及事業	14
6 学校連携事業	18
7 共催事業	19
8 その他科学館で開催された主な催事など	20
9 情報提供活動	21
10 広報活動	21
III サイエンスボランティア旭川の活動	
1 概 要	22
2 平成28年度従事者数	22
3 活動の内容	22
IV 旭川市科学館利用案内	
1 観 覧 料	25
2 開館日等	26

運営組織及び職員数（平成29年4月1日現在）



科学館職員 計29名

I 旭川市科学館の概要

1 考え方

旭川市科学館「サイパル」は、子供達をはじめ多様な方々に、様々な科学に関する情報を伝え、科学への関心、理解を深めることを目的としています。

今日、学習普及活動においても分野にとらわれない柔軟な取組が必要とされており、環境問題など新たな課題に対応するため、個々の科学分野を超えて横断的・学際的な取組が求められています。その中で旭川市科学館では、物理学、化学、生物学、地学など、あらゆる自然科学分野を対象とする多彩な活動を進めています。

2 概要

サイパルは「北彩都あさひかわ」シビックコア地区に位置しています。

敷地内には、鳥や昆虫などが観察できる野外自然観察空間が設けられており、神楽岡公園や忠別川河畔林などの豊かな自然に囲まれ、のびのびとした空間で自然科学を学ぶことができることが大きな特徴です。

また、多くの方々が利用する常設展示室や特別展示室、プラネタリウムなどを1階に、実験実習室などを2階にそれぞれ配置し、子供から高齢者、ハンディキャップを持つ方々など、誰もが使いやすいようユニバーサルデザインの考え方を取り入れています。

駐車場の排雪を利用した雪冷房システムの導入など環境にも配慮し、人と環境に優しい科学館として運営しています。

科学の不思議さを表現したシンボル展示「水竜」、国際家具デザインフェア旭川コンペティション入選作品など美しい地場木製家具の「旭川家具」を配置し、特色ある空間づくりにも配慮しています。

3 沿革

昭和38年11月3日	旭川市青少年科学館が旭川市常磐公園に開館
平成17年1月30日	新築移転のため閉館
平成17年7月23日	旭川市科学館「サイパル」として現在地に移転、開館
平成17年8月13日	入館者10万人を達成
平成18年5月4日	入館者50万人を達成
平成19年8月10日	入館者100万人を達成
平成23年3月13日	入館者200万人を達成
平成26年11月9日	入館者300万人を達成
平成27年7月23日	新館開館10周年



旭川市科学館外観

4 施設の詳細

(1) 旭川市科学館

- ・所在地 旭川市宮前1条3丁目3番32号
- ・敷地面積 27,099.65㎡
- ・延床面積 5,799.60㎡（車庫棟・雪室棟を除く）
 - 〔内訳〕 ○常設・特別展示室，サイエンスシアター 約1,780㎡
 - プラネタリウム 約 375㎡
 - 天文台 約 90㎡
 - 実験実習室ほか 約 655㎡
 - 共用・管理運営関係 約2,900㎡
- ・構造 鉄筋コンクリート造，一部プレストレストコンクリート造及び鉄骨造，4階建
- ・総事業費 48億1,432万3千円（用地購入費，一部外構工事等除く）

(2) 各室の内訳

1階	常設展示室(サイエンスシアター含む)	約1,600㎡，(3)常設展示室詳細参照
	特別展示室	約180㎡，各種の特別展を開催
	プラネタリウム	(5)プラネタリウム詳細参照
	学習・研修室	約150㎡，126席，視聴覚機器付設
	エントランスホール	観覧受付，シンボル展示，休憩コーナー等
	ミュージアムショップ	各種の科学グッズの販売
	事務室ほか	
2階	パソコン実習室	パソコンを使った学習など
	電子工作室	電子機械工作などの実習
	理科実験室・準備室	物理・化学などの実験実習
	木工模型工作室・作業・準備室	木工・模型工作実習など
	レファレンスルーム・準備室	生物・地学などの観察実習，情報コーナー，各種資料による自主研究に開放
	休憩コーナー	南東・北西の角に設置（2か所）
	空調機械室，熱源機械室等	
3階	発電機室	※一般開放スペースはない
4階	天文台（2基），観測デッキ等	(4)天文台詳細参照
屋外	駐車場・駐輪場	一般車両76台，大型バス6台，身障者用駐車場5台，自転車100台
	エントランス広場，円環広場	休憩・昼食場所，野外での実験実習スペース
	野外自然観察空間	約5,000㎡，在来種の雑木林，トンボ池，野外展示2基など自然観察スペースに活用

(3) 常設展示室詳細

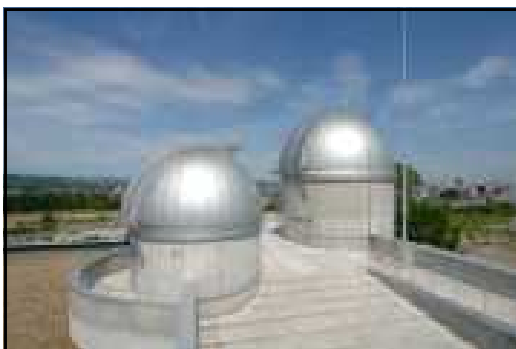
- Ⅱ 平成28年度事業活動報告を参照

(4) 天文台詳細

- ・ 位 置：北緯43度45分23秒 東経142度22分13秒 標高143m
- ・ 面 積：173㎡（うち大天文台50㎡，小天文台19㎡，準備室20㎡，その他84㎡）
- ・ 大天文台：ドーム直径8m，口径65cm カセグレン式反射望遠鏡（三鷹光器製）及び付属望遠鏡2基設置，光電測光装置・バリアフリー接眼装置付設，コンピュータコントロール方式，遠隔操作・観測画像配信システム
- ・ 小天文台：ドーム直径5m，口径20cm 屈折望遠鏡（三鷹光器製）及び太陽ビデオ撮影機能付属望遠鏡2基設置，太陽投影板・太陽用H α フィルター・太陽用ビデオカメラ・バリアフリー接眼装置付設，コンピュータコントロール方式，遠隔操作・観測画像配信システム
- ・ 観測デッキ：口径10cmの移動式天体望遠鏡や双眼鏡を使って広範囲の星空を観察。

(5) プラネタリウム詳細

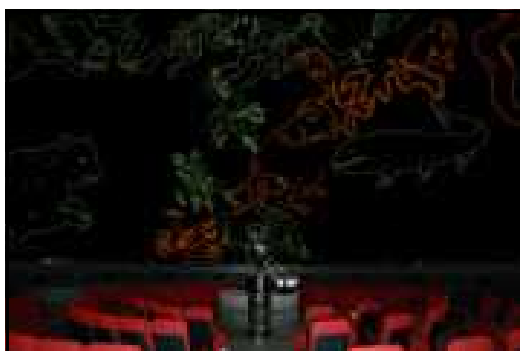
- ・ 面 積：670㎡（客室232㎡，プロジェクションギャラリー112㎡，ロビー228㎡，その他98㎡）
- ・ ドーム：直径18m，水平型・平面床，170席（うち2人掛け椅子5脚，通常時同心円配列・映像投影一部回転式）
- ・ 投影機：カール・ツァイス社製スターマスターZMP（コンピュータ制御，光源・光ファイバー式），全天周ドーム映像装置など付設
- ・ 特 徴：生解説によるマニュアル投影，我が国初（導入当時）のコンピュータ制御式カール・ツァイス社製投影機及び，同心円配列の座席としては，全国で初めて回転可動式座席を導入。



天 文 台



大型望遠鏡



プラネタリウム

Ⅱ 平成28年度事業活動報告

1 利用状況（延べ人数）

単位：人 単位：人

内訳 月	常設展示室	プラネタリウム	天文台	事業活動等 参加者	その他	平成28年度 合計	平成27年度
4	10,630	4,277	1,323	4,675	202	21,107	18,068
5	11,203	5,239	1,519	6,875	44	24,880	25,214
6	7,301	3,311	717	2,873	18	14,220	12,164
7	12,726	5,765	1,630	4,530	405	25,056	31,806
8	16,768	8,773	2,681	9,039	56	37,317	56,219
9	8,441	4,411	1,262	2,117	127	16,358	29,633
10	8,175	3,883	1,095	3,967	859	17,979	15,222
11	5,804	2,869	453	4,155	173	13,454	19,783
12	3,290	1,891	238	2,586	20	8,025	6,999
1	5,046	1,855	599	6,354	1,080	14,934	13,053
2	3,058	1,117	404	2,342	593	7,514	6,329
3	7,870	3,482	1,429	3,203	262	16,246	13,649
合計	100,312	46,873	13,350	52,716	3,839	217,090	248,139

※平成28年度の1日平均入館者数：680.5人／日（開館日：319日）

※1月24日～2月9日まで機器整備のためプラネタリウム休止

最近10年間の科学館入館者数一覧（平成18年度～平成27年度：延べ人数）

年度	常設展示室	プラネタリウム	天文台	各種事業他	計	備考
H18	192,260	104,459	43,808	101,728	442,255	
H19	136,193	74,488	26,960	43,525	281,164	
H20	125,692	67,265	34,243	57,516	284,716	
H21	117,179	60,690	24,274	63,340	265,483	
H22	130,229	64,828	19,087	84,892	292,055	6月～9月無休開館実施
H23	131,268	66,611	15,576	78,600	292,055	
H24	115,940	60,930	13,959	63,726	254,555	
H25	120,877	62,656	16,667	61,166	261,366	
H26	110,264	54,242	13,420	54,500	232,426	
H27	113,324	49,491	15,163	70,161	248,139	

※特別展入場者数は各種事業他に含まれるが、H17に限り常設展示室に含まれる。



2 常設展示事業

北国・地球・宇宙の3つをテーマとした全46点の体験型の科学模型，キッズコーナー，科学に関する2D・3D映像を上映するサイエンスシアターを展示。

コーナー	展 示 名	
北国	北国の動物はなぜ大きい？／氷河期と海面変位／虫の目から見た自然／雪の結晶／ナダレンジャー／北国の天気／旭川ズームイン！／水滴のダンス／低温実験室 全9点	
地球	身体ズームイン／内臓パズル／呼吸のしくみ／人体スキャン／消化器のはたらき／表情の不思議／生命の誕生／風をおこそう／ロボットサッカー／ボールコースター／電磁サークル／スケスケマシン／手さぐりの通路／錯覚の部屋／光のサッカー／ジャンボシャボン／空中スクリーン／光の三原色／影で遊ぼう／バーチャルフライト／スピードガン／ボディータック／地震体験／火山をつくろう／雲をつくろう／対流をみよう！／人類の進化／地球環境問題クイズ／燃料電池のしくみ／温暖化から地球を救え／大陸移動 全31点及びキッズコーナー	
宇宙	ムーンジャンプ／宇宙ゴマ／月の満ち欠け／星の回転運動／宇宙旅行／クイズスペース1 全6点	
サイエンスシアター	3D	北国 雪の結晶／大雪山の成り立ち／エゾモモンガ
		地球 巨大台風／オーロラ その神秘に迫る／氷河と地球温暖化
		宇宙 宇宙ステーション／毛利さんと飛ぶ宇宙から見た水の惑星／暗黒の世界 ブラックホール
	2D	北国 石狩川夢の旅人
		地球 謎の深海底
		宇宙 テラフォーミング～地球から火星へ～

常設展示室観覧者数(平成28年4月～平成29年3月)単位：人

月/区分	個 人					団 体					人数合計
	大人	高校生	小人	その他	小計	大人	高校生	小人	その他	小計	
4	4,554	68	5,227	267	10,116	52	124	193	145	514	10,630
5	4,672	103	4,328	336	9,439	176	42	1,337	209	1,764	11,203
6	2,051	36	1,840	151	4,078	305	81	2,288	549	3,223	7,301
7	3,963	80	4,577	354	8,974	66	1	2,746	939	3,752	12,726
8	6,843	209	6,795	703	14,550	135	2	1,680	401	2,218	16,768
9	3,040	98	2,671	231	6,040	99	0	1,695	607	2,401	8,441
10	3,200	67	3,012	234	6,513	267	0	959	436	1,662	8,175
11	2,448	48	2,425	177	5,098	28	0	431	247	706	5,804
12	1,295	18	1,200	126	2,639	22	0	517	112	651	3,290
1	2,130	41	2,193	181	4,545	61	0	379	61	501	5,046
2	1,450	21	1,204	105	2,780	52	0	132	94	278	3,058
3	3,392	130	3,520	271	7,313	49	1	293	214	557	7,870
年度合計	39,038	919	38,992	3,136	82,085	1,312	251	12,650	4,014	18,227	100,312

※「その他」は観覧料免除者(身体障害者・70歳以上・引率者・介護者・行政視察等)

3 特別展示事業

「コロッ・クルの夏休み／コロッ・クルの冬休み」

多数の来館者が見込まれる長期休暇中に、無料開放型のワークショップや実験ショー、講演会など一連の事業を集中的に実施。

<夏休み>

実施期間	平成28年7月23日～8月16日（開催期間25日間）
参加者数	9,751人
内容	夏休みかんたん工作，～ワクワク実験隊～鉄の不思議教室，いきものウォッチ，日本人初の恐竜学者によるトークライブ，サイエンスショー「超低温の実験」，サイエンスショー「無人島サバイバル！～眠れる科学島の秘宝～」，科学で遊ぶ「夏」，講演会「アラスカ・ノーザンライト」，サイパル夏縁日，ディスカバリーチャンネル特別上映会「解明・宇宙の仕組み」



<冬休み>

実施期間	平成28年12月23日～平成29年1月15日 ※休館日は除く （開催期間16日間）
参加者数	6,399人
内容	冬休みかんたん工作，サイエンスショー「空気のイリュージョン」，科学で遊ぶ「冬」 & ジオフェスティバルin旭川



4 実験実習事業（主なものを掲載）

（1）体験教室・講座

ア 科学館クラブ（前・後期）

	クラブ名	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
前 期	星・宇宙	望遠鏡の使い方と観測方法 や季節の星座の解説	小学3年～ 中学生の親子	10組	67人	5月～9月 (5回)
	理科(木)	10テーマの実験や観察	小学4年～ 5年生	20人	140人	5月～9月 (各10回)
	理科(日)			20人	143人	
	科学工作(木)	メロディフォトスタンドの 製作		16人	60人	
	科学工作(土)			16人	143人	
	パソコン	パソコンの使い方, 利用方法		16人	127人	
理科・工作	理科実験と木工作	小学6年～ 中学生	20人	96人		
後 期	星・宇宙	望遠鏡の使い方と観測方法 や季節の星座の解説	小学3年～ 中学生の親子	10組	104人	11月～翌3 月(5回)
	理科(日)	10テーマの実験や観察	小学4年～ 5年生	20人	147人	11月～翌2 月(各10回)
	科学工作(木)	鉛筆立て付きラジオの製作		16人	75人	
	科学工作(土)			16人	123人	
	パソコン	パソコンの使い方, 利用方法		16人	125人	
理科・工作	理科実験と電子工作	小学6年～ 中学生	20人	88人		

イ 親子でチャレンジ！わくわく実験室（前・後期）

	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
前	親子で簡単な実験実習を体験 (前期全5回, 後期全6回)	小学2～3	40組	354人	5月～7月
後		年生の親子	40組	428人	11月～翌2月

ウ 旭川少年少女発明クラブ

	内 容	対 象	定員	延べ人数	開催日
	アイデア工作, 基礎工作, 科学の夢絵 画の制作など	小学3年～ 中学生	20人	186人	6月～翌3月 (20回)
	発明クラブ体験工作	小・中学生	30人	27人	8月14日

エ サイエンスセミナー

回	内 容	参加者数	開催日
1	岡田弘名誉館長サイエンス・ツアー 旭川の広域ジオ・パーク構想について学ぶ	16人	9月11日
2	「災害の直撃から逃れた人たち」 講師：岡田 弘名誉館長(北海道大学名誉教授)	30人	1月15日
3	「宮澤賢治が描いた宇宙－生誕120周年記念講演－」 講師：渡部 潤一顧問(国立天文台副台長)	85人	12月4日
4	「日本人初の恐竜学者によるトークライブ」 講師：小林快次顧問(北海道大学准教授)	60人	7月30日

講演会	開催日	場 所	人数	概 要
野鳥講演会	4月9日	大雪クリスタルホール	85人	野鳥の専門化を招き、野鳥の魅力について話を聞き、自然保護の理解を深める。
サイエンス講演				小学生を対象とした科学講演会
神居古潭峡谷のジオ構想	7月9日	サイエンスシアター	23人	
サイエンスレポート	1月15日	サイエンスシアター	30人	北海道の黒曜石の化学分析について学芸員が解説

オ こども科学博士

回	内 容	対 象	定 員	人数	開催日
1	遊んでサイエンス	小学1～3年生と保護者	10組	19人	7月24日
2	手作りうどんに挑戦①		10組	16人	10月30日
3	いろいろ色実験		20組	34人	1月9日
4	手作りうどんに挑戦②		10組	20人	3月26日

カ 理科実験マスター教室

回	内 容	対 象	定 員	人数	開催日
1	プラスチックのふしぎ	小学6年～中学生	10人	3人	8月2日
2	酵素の実験／酸化還元の実験		10人	10人	1月8日

キ パソコン基礎講座

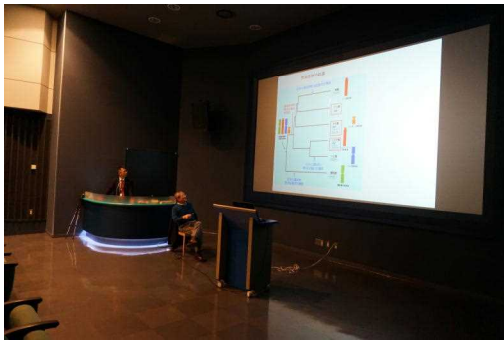
回	内 容	対 象	定 員	延べ人数	開催日
1	たのしくパソコン～パソコンの使い方を習得し、生活に利用しよう。(各全10回)	高齢者	10人	95人	5月～7月
2			10人	90人	8月～10月
3			10人	95人	1月～3月
4	特別講座「Word編」(全3回)		10人	30人	11月17日～19日
5	特別講座「Excel編」(全3回)		10人	29人	3月23日～25日

ク 地学体験学習

回	内 容	対 象	定 員	人数	開催日
1	大人のための宝石みがき(1回目)	大人	12人	12人	7月8日
2	大人のための宝石みがき(2回目)		15人	13人	3月8日
3	有孔虫の化石を取りだそう！	小・中学生	10人	10人	1月9日

ケ 低温実験室運営

内容	参加者数	開催日
氷点下30℃になる低温実験室で、過冷却水やダイヤモンドダストの観察実験等を実施	3,888人	休館日を除く土日 (合計100回)



サイエンスセミナー



たのしくパソコン

(2) ものづくり教室

ア 市民木工教室

回	内容	対象	定員	延べ人数	開催日
1	鯉のぼりモビールの製作	大人	16人	12人	5月3日
2	カントリー調シェルフの製作		16人	14人	7月10日
3	メモスタンドとペン置き製作		16人	8人	8月11日
4	天板付きマガジンラックの製作		16人	20人	9月17日 ～18日
5	ハンガースタンドの製作		16人	12人	10月22日 ～23日
6	チャイルドチェアの製作		10人	10人	2月25日

イ 親子で作る木の工作室

回	内容	対象	定員	人数	開催日
1	木のグライダーの製作	小学3・4年生と 保護者	各10組	16人	7月30日
2	(各日午前, 午後開催)		各10組	10人	7月31日
3	引出付きブックスタンドの製作		各10組	30人	12月24日
4	(各日午前, 午後開催)		各10組	4人	12月25日

ウ デジタル工房

回	内 容	対 象	定 員	人数	開催日
1	スクローラーの製作	小学4年～中学生	10人	8人	8月1日
2	センサー付きLEDライトの製作		10人	10人	8月8日
3	メッセージファンの製作		10人	7人	12月27日

エ 夏休み自由工房

回	内 容	対 象	定 員	人数	開催日
1	ハンディテープカッターの製作 (午前の部・午後の部)	小学4年～中学生	各16人	7人	8月3日
2	ミニソーラーカーの製作		10人	9人	8月4日
3	フォトフレームの製作		10人	3人	8月5日

オ 大人のための電子工作

回	内 容	対 象	定 員	人数	開催日
1	キューブラジオの製作	大人	10人	5人	5月15日
2	LED行燈の製作		10人	6人	7月18日
3	メッセージファンの製作		10人	4人	8月13日
4	ソーラークロックの製作		10人	4人	9月25日
5	フルカラーLEDランタンの製作		10人	3人	11月23日

カ キッズ電子工作

回	内 容	対 象	定 員	人数	開催日
1	オルゴールごまの製作	小学4年～中学生	10人	8人	5月5日
2	LEDライトの製作		10人	5人	7月29日
3	電子サイコロの製作		10人	6人	8月2日
4	AMラジオの製作		10人	8人	8月9日
5	ミニLEDライトの製作		10人	8人	1月13日

キ 夏・冬休みかんたん実験工作室

回	内 容	対 象	定 員	人数	開催日
1	紙コップスピーカーの製作 (2回実施)	小・中学生 (小3以下は 保護者同伴)	各20人	19人	7月26日
2	雪の結晶万華鏡を作ろう		10人	17人	1月13日

ク 糸のこ体験工作

内 容	対 象	参加者数	開催日
木のキーホルダー作り	どなたでも	144人	1月27日 ～3月24日

(3) 野外活動

ア 自然観察会

回	内 容	対 象	定 員	人数	開催日
1	大人のための自然観察会	大人	20人	6人	5月22日
2			20人	7人	2月19日
1	子連れお散歩自然観察会	未就学児童と保護者	20人	9人	6月2日
2			20人	15人	9月8日
1	化石採集会	小学生以上（小3以下は保護者同伴）		51人	6月26日
2				59人	7月10日

イ 自然体験学習

回	内 容	対 象	定 員	人数	開催日
1	探鳥会	どなたでも	30人	10人	5月15日

(4) 科学イベント

ア サタデーサイエンスひろば

毎週土曜日に、当日の来館者を対象としたサイエンスショーなどを開催。

内 容	対 象	参加者数	開催日
元素の実験など12テーマ（全48回）	どなたでも	3,581人	毎週土曜日

イ 春・秋の科学館まつり

	内 容	対 象	参加者数	開催日
春	科学館クラブの参加者募集と科学館事業の紹介を目的に開催	どなたでも	3,342人	4月29日
秋			2,386人	11月3日

ウ サイエンススタジオ

内 容	対 象	参加者数	開催日
シャボン玉パーク	どなたでも	4,910人	5月3日～5日
サイエンスショー「カラフルパワー」		283人	9月22日
理科実験室DX		480人	11月23日
鉱物のサイエンススタジオ		900人	2月11日
知育おもちゃ&へんてこガジェット大集合		1,270人	3月19日～20日

(5) 各種行事

ア 科学の夢の図画コンクール・上川地方青少年発明くふう作品展

内 容	参加者数	開催日
科学の夢の図画コンクール 旭川市内の小中学生を対象とした科学の夢を描いた図画作品のコンテスト（応募：小学生141人，中学生60人）	201人	8月16日 ～9月16日 (募集期間)
上川地方青少年発明くふう作品展 上川地方の小中学生を対象とした発明やくふうをこらした工作作品のコンテスト。（上川・旭川創意くふう教育研究会，旭川発明協会との共催）	29人	7月30日 ～9月18日 (募集期間)
合同展示会・表彰式(表彰式は10日のみ)	1,607人	10月6日～10日
展示会	1,437人	
表彰（図画）	71人	
表彰（発明）	99人	

イ 宇宙の日作文絵画コンテスト

内 容	参加者数	募集期間
「宇宙の日」記念行事全国小・中学生作文絵画コンテスト 応募：作文（小学生4人，中学生2人），絵画（小学生30人，中学生37人）	73人	5月～7月31日

ウ 科学技術映像作品上映会

内 容	対 象	参加者数	開催日
ガレリオ×オリガミと科学の出会い	どなたでも	19人	6月19日
コズミック・フロント ファーストスター誕生		33人	6月26日

エ ジオ・カフェ

回 数	開催日	開催場所	参加者数	内 容
第1回	6月17日	サンタプレゼントパーク	40人	上川盆地周辺における地質について学ぶ
第2回	7月9日	サイエンスシアター	23人	
第3回	8月10日	学習・研修室	22人	
第4回	10月29日	サイエンスシアター	21人	
第5回	11月25日	学習・研修室	31人	
			計137人	

5 天文普及事業

(1) 天文台事業

ア 天文台公開

期間等	平成28年4月～平成29年3月（317日間開放 ※強風で1日閉鎖）
参加者数	1 利用状況の天文台を参照
内容	一般来館者に天文台を開放し、ドーム直径8メートルの大天文台では、口径65cmのカセグレン式反射望遠鏡で主に星の観測、ドーム直径5メートルの小天文台では、口径20cmの屈折望遠鏡で主に太陽の観測を行っている。
実施時間	午前9時30分～午後5時(晴天時は開館時間内常時開放) ※夜間開館延長日等の場合はその開館時間に合わせて開放。

イ 天体を見る会

期間等	平成28年4月～平成29年3月（計19回実施）
参加者数	計750人
内容	月、土星等の惑星その他の天体の様子を、実際に望遠鏡等を使用して観測するとともに、天文への理解を図る。
実施時間	4月～9月：午後7時30分～午後9時 10月～3月：午後7時～午後8時30分 (※時間限定の天文現象など、テーマによって時間が異なる場合有り)

ウ 星の教室

内容	対象	参加者数	開催日
最新の天文学などについて、わかりやすく解説する（全6回）	どなたでも	217人	主に奇数月の最終日曜日

エ 親子天文博士

回	内容	対象	参加者数	開催日
1	親子で望遠鏡の使い方と観測方法	小中学生と保護者	24人	6月1日
2	法を学ぶ		9人	9月10日

オ 夏・冬休み天文教室

	内容	対象	参加者数	開催日
夏	天体望遠鏡の製作とプラネタリウム、天文台、常設展示室見学	小学4年～中学生	7人	8月1日
冬			4人	12月27日

カ 移動観測会

内容	対象	参加者数	開催日
江丹別若者の郷「親子天体観測会」	小学生以上の親子	40人	8月4日

キ 天体観測

内容	回数	期間
太陽黒点の観測	177回	4月～3月

(2) プラネタリウム事業

天文知識の啓発・普及を目的に、旭川の空に見える季節の星座を紹介する一般投影を中心に、学習番組投影、幼児番組投影、イベント的な特別投影等を展開している。

◎プラネタリウム総観覧者数（※小人は幼児を含む）

単位：人

月/区分	個人					団体					人数 合計
	大人	高校生	小人	その他	小計	大人	高校生	小人	その他	小計	
4	1,922	67	1,821	178	3,988	10	124	116	39	289	4,277
5	2,163	53	1,590	182	3,988	66	56	1,007	122	1,251	5,239
6	1,035	20	563	103	1,721	101	91	1,128	270	1,590	3,311
7	1,824	51	1,707	249	3,831	72	0	1,368	494	1,934	5,765
8	3,526	144	3,067	421	7,158	41	4	1,290	280	1,615	8,773
9	1,607	66	1,063	163	2,899	76	1	1,225	210	1,512	4,411
10	1,535	57	1,162	216	2,970	176	0	591	146	913	3,883
11	1,298	37	960	125	2,420	50	0	290	109	449	2,869
12	795	26	620	112	1,533	21	0	271	46	338	1,891
1	835	32	703	96	1,666	20	1	154	14	189	1,855
2	556	22	309	62	949	44	0	100	24	168	1,117
3	1,665	100	1,315	173	3,253	3	0	137	89	229	3,482
年度計	18,761	675	14,880	2,080	36,396	680	277	7,677	1,843	10,477	46,873

※「その他」は観覧料免除者（身体障害者・70歳以上・引率者・介護者・視察）

※「団体」は団体料金適用者

※1月24日～2月9日まで機器整備のためプラネタリウム休止

◎プラネタリウム総観覧団体数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
団体数	9	19	46	72	55	47	34	21	16	5	6	13	343

ア 一般投影

日の入りから夜8時の空、そして日の出までの旭川の星空を中心に、約40分の星座解説を行う。担当者がそれぞれ番組を自作し、生解説による投影を行っている。

（投影番組）

番組タイトル	投影期間	テーマ	投影回数
北の親子星	(3月)～4月	おおぐま座・こぐま座	65回
見頃の惑星	5月～6月	火星・木星・土星	158回
南十字をさがして	7月～8月	南半球で見える星座	172回
身近な月と遠い惑星	9月～10月	月・氷惑星	139回
星空水族館	11月～12月	水に関する星座	116回
星の一生	1月～2月	星の一生	82回
サン☆SUN☆太陽	3月～(4月)	太陽	68回
番組数	7番組	投影回数合計	800回

※（ ）内の月は別年度のため、投影回数には含まない。

(一般番組利用状況)

月	団体数	観覧者数	投影回数
4	6	2,210人	65回
5	7	2,350人	74回
6	27	1,863人	84回
7	19	2,074人	82回
8	15	3,750人	90回
9	13	1,794人	76回
10	16	1,941人	63回

月	団体数	観覧者数	投影回数
11	8	1,367人	59回
12	4	853人	57回
1	1	991人	47回
2	2	637人	35回
3	7	1,894人	68回
合計	125	21,724人	800回

※観覧者数・団体数はプラネタリウム総観覧者数に含む。

イ 特別投影

○学習番組投影 実施期間：通年

時間や天候など、制約が多い実天観測の代わりに、プラネタリウムで天体の動きを見せながら解説することで、天体に対する理解を促す。

(投影番組)

対象	番組内容	所要時間	投影回数
小学3年生	かげと太陽（太陽の1日の動きと影の出来方）	30分	3回
小学4年生	月と季節の星座（月の形と動き、季節の星座）	30～40分	20回
小学6年生	月と太陽（月の満ち欠け）	40分	9回
中学生	地球の動きと星の動き（自転・公転と天体の見かけの動き）	40～50分	6回
	太陽系と宇宙の構造（太陽系の惑星、銀河系など）	40～50分	7回

(学習番組利用状況)

単位：人

区分 月	観覧者数（人）						団体数					
	小学生			中学生		合計	小学生			中学生		合計
	3年	4年	6年	「地球」	「宇宙」		3年	4年	6年	「地球」	「宇宙」	
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	50	0	19	200	269	0	1	0	1	2	4
6	0	168	33	48	0	249	0	3	2	1	0	6
7	0	57	113	41	97	308	0	2	2	1	2	7
8	17	372	145	0	0	534	1	6	2	0	0	9
9	38	267	136	119	148	708	1	4	3	1	2	11
10	14	71	0	165	22	272	1	2	0	2	1	6
11	0	8	0	0	0	8	0	1	0	0	0	1
12	0	15	0	0	0	15	0	1	0	0	0	1
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	69	1,008	427	392	467	2,363	3	20	9	6	7	45

※観覧者数・団体数はプラネタリウム総観覧者数に含む。

○幼児番組投影 実施期間：通年

幼稚園・保育所等の未就学児団体を主な対象に、物語を多く取り入れた20分前後の番組を製作・投影している。

(投影番組)

番組タイトル	投影期間	テーマ
わんわんわん	4月1日～4月29日	冬から春の星座紹介, おおいぬ座, こいぬ座
夜空の動物園	5月1日～6月29日	春の星座紹介, 動物星座
夏のほしとたなばた	7月1日～8月31日	夏の星座紹介, 七夕伝説
かぐやひめ	9月1日～10月31日	秋の星座紹介, かぐやひめのお話
クリスマスのふしぎ	11月1日～12月25日	冬の星座紹介, クリスマスのお話
ふゆのせいぎ	12月26日～2月28日	冬の星座紹介, エリダヌス座のお話
わんわんわん	3月1日～3月31日	冬から春の星座紹介, おおいぬ座, こいぬ座

(幼児番組利用状況)

月	団体数	観覧者数	投影回数
4	2	1,510人	30回
5	5	1,747人	35回
6	9	897人	26回
7	39	2,825人	45回
8	23	3,440人	49回
9	16	1,489人	36回
10	9	975人	19回

月	団体数	観覧者数	投影回数
11	9	898人	22回
12	10	491人	21回
1	3	577人	17回
2	3	312人	14回
3	6	970人	26回
合計	134	16,131人	340回

※観覧者数・団体数はプラネタリウム総観覧者数に含む。

○特別番組投影

日頃、天体やプラネタリウムに興味のない人も楽しめるよう、天文以外の分野を取り入れた投影

(投影番組)

番組タイトル	内 容	観覧者数	投影日
夏の星空CDコンサート 「アフリカナイト～エジプト・南アフリカ星空ツアー」	各国季節の星座解説とエジプト、アフリカにちなんだ音楽を紹介するCDコンサート	122人	8月13日
クリスマス星空CDコンサート 「スターリー☆ナイト～星いっぱいクリスマス～」	クリスマスをテーマに音楽と季節の星座を紹介するCDコンサート	155人	12月17日
春のCD星空コンサート 「イースターパーティー」	イースターをテーマに音楽と季節の星座を紹介するCDコンサート	99人	3月18日

○ドームシアター 実施期間：通年

デジタル映像投影装置を利用し、全天周映像を上映する。

(番組利用状況)

投影回数：294回

番組タイトル	内 容	観覧者数	団体数
ETERNAL RETURN -いのちを継ぐもの-	全天周デジタル映像, オート番組, 宇宙の中で生まれるいのちの物語	5,707人	26



星の教室



プラネタリウム特別投影

6 学校連携事業

(1) 科学館体験学習

科学館利用団体の要望に応じ、サイエンスショーや実験工作・電子工作・木工工作・地学実習や低温実験体験などのメニューを実施

期 間	通年（団体からの依頼があった都度開催）
利用団体数	延べ62団体（利用者数：1,941人）
テーマ	サイエンスショー・・・「炎と爆発の実験」など 工作・実習体験・・・「カライドサイクル」、「クエン酸でご機嫌」など 電子工作・・・「電子テスターの製作」など 木工工作・・・「木工カー作り」など その他・・・低温実験室体験など

(2) 巡回実験教室事業

ア 巡回実験教室

小学校などからの要望に応じて職員等が出向き、実験ショーや簡単な工作教室などを行う。

期 間	通年
利用団体数	延べ11団体（利用者数：766人）
テーマ	サイエンスショー・・・「音の実験」など 実験工作・・・「入浴剤をつくろう」など

イ プラネタリウムの学校授業での活用

小中学校と連携し、プラネタリウムを活用した天文授業を開発・実施。

（参加者数は全てプラネタリウム観覧者数に含む）

利用学校名	参加者数	開催日
旭川市立東光小学校4年生	152人	10月6日
旭川市立明星中学校3年生	92人	11月2日
旭川市立西神楽中学校3年生	18人	11月11日
旭川市立神楽中学校3年生	128人	12月21日

ウ 総合学習関連事業

小・中学校の総合学習と関連した事業の開催

訪問先	テーマ	参加者数	開催日
東神楽町立東神楽中学校	地震について	374人	5月17日

(3) 人材育成事業

ア 博物館実習の受入れ

博物館実習とは、学芸員の資格を得るために必要な博物館での実習です。博物館法施行規則第1条に基づいて行われます。平成20年度からは科学館と博物館の両施設で一体的に実施しています。

(ア) 実習期間

平成28年8月25日(木)から8月31日(水)まで(7日間)

(イ) 実習生(学校別人数)

合計 10人

学校名	人数	学校名	人数
北海道教育大学旭川校	6人	秋田公立美術大学	1人
帯広畜産大学	1人	新潟大学	1人
八州学園大学	1人		

イ サイパル理科研修会

回	内容	対象	延べ人数	開催日
1	小3単元「風やゴムの働き」他	教員	2人	6月25日
2	小5単元「流れる水の働き」		13人	8月9日
3	水と空気の秘密を探る		1人	10月29日
4	立体模型を使った防災教育モデル		5人	1月11日

ウ 教育大学生の受入れ

教育フィールド研修 I	対象	参加者	期間
	北海道教育大学1年生	26人	4月～9月

7 共催事業

(1) みどりの回廊展(共催：あさひかわ自然共生ネットワーク)

内容	参加者数	開催日
自然や環境に関する市民活動団体のパネル展示, 体験実習等	794人	6月25日, 26日

(2) ミニマイコンカー教室(共催：旭川工業高等学校)

内容	延べ人数	開催日
ミニマイコンカー製作と競技会	14人	10月15日, 16日

(3) 科学で遊ぶ夏・冬(共催：サイエンスボランティア旭川)

内容	参加者数	開催日
小中学校・高校・大学等の理科の先生や科学クラブの学生等がボランティアで参加し, 来館した子供たちが参加・体験できる面白い実験や工作を屋台式のブースを設けて実施	1,150人	8月7日
	3,225人	1月15日

8 その他科学館で開催された主な催事など

催事名	主催等	延べ人数	開催日
くまげら会活動	女性木工サークル(31回実施)	242人	4月～翌3月
環境地図作品展	環境地図教育研究会	664人	10月22日, 23日
日専連版画コンクール	日専連旭川	983人	1月21日, 22日
健康日本21	旭川薬剤師会	303人	2月26日

ジオパークの会	調査場所	参加人数	開催日
旭川周辺における地質調査	秋月橋周辺	14人	5月28日
	当麻町周辺	11人	6月19日
		計 25人	

地学団体研究会	開催場所	参加人数	開催日
地学団体研究会旭川総会第1回会議	札幌市	15人	6月25日
地学団体研究会旭川総会第2回会議	札幌市	30人	12月18日
		計 45人	

親子天体観測	開催場所	参加人数	開催日
親子天体観測会	江丹別	40人	8月4日

科学ものづくりフェスタ	開催場所	参加人数	開催日
科学やものづくりに関するブースを出展し、来館者に体験してもらうイベント。北海道教育大学との共催	特別展示室 学習・研修室	646人	10月29日

水産総合センター北海道区水産研究所	開催場所	参加人数	開催日
サイエンスカフェおさかな 野生サケ資源と人工ふ化放流についての講演を実施	学習・研修室	41人	12月10日

旭川医科大学	開催場所	参加人数	開催日
わくわくサイエンス 実験実演のブースを出展	特別展示室	215人	2月12日

9 情報提供活動

(1) レファレンスルームの開放

設置・使用目的：各科学分野に関する自習スペースとして開放するとともに、生物・地学分野の観察・実習活動の場として活用

備付け備品類：走査電子顕微鏡（係員が立会で使用）、双眼顕微鏡、インキュベーター、その他各種観察・実験器具

備付け資料など：科学関係図書・DVD等、植物・昆虫・鉱物標本、動物・野鳥・昆虫・植物の写真ファイル、昆虫などの生体他

（備品・資料・家具類などは一部を除き（社）旭川自動車学園からの寄贈による）

(2) 情報コーナーの運営（レファレンスルームへ移設）

設置・使用目的：パソコンで様々な科学情報を検索・閲覧できるライブラリー機能のほか、科学館の施設・事業活動を紹介する

設備概要：パソコン端末2台、インターネット検索可能

(3) ホームページの運用

運用目的：科学館についての情報提供を広く行うとともに、市民や利用者とのコミュニケーション活動を推進するために活用する。

主な掲載内容：科学館案内や各種事業活動の内容、募集情報、ミュージアムショップの紹介、研究成果など。

10 広報活動

科学館の周知、事業内容のPRと利用の促進を図るため、次の広報活動を実施した。

(1) 広報誌「こうほう旭川市民」への事業案内、利用案内等の掲載。

(2) 新聞・テレビ・ラジオ・雑誌等報道機関その他媒体への情報提供、取材依頼。

(3) 科学館利用案内リーフレット、パンフレット等の配布。

(4) 各種事業のチラシを市内及び近郊の小中学校、公共施設等に配布。

(5) ホームページやFacebookを通じて利用案内や事業情報等を発信。

(6) 「科学館報」、調査研究などの「研究報告」、旭川における1年間の天文情報をまとめた「天文略表」の発行、配布。

(7) レファレンスルームに科学館の事業活動を紹介する情報コーナーの設置。

Ⅲ サイエンスボランティア旭川の活動

サイエンスボランティア旭川は、旭川市科学館の事業運営をサポートし、科学の普及活動を行う団体です。科学知識・技術の有無に関わらず、子供たちに科学のおもしろさや、科学を学ぶ楽しさを伝えたいという人たちが参加しています。

1 概 要

- ・団体名 サイエンスボランティア旭川
- ・代表者 鈴木 絃一（平成28年度）
- ・設立 平成16年5月15日
- ・登録会員数 127名（平成28年3月末日現在）
- 〔内訳〕 ・案内説明員，事務局員合計127名（うち特別学芸員82名）

〈お問合せ先〉 〒078-8391 旭川市宮前1条3丁目3番22号
 旭川市科学館内 サイエンスボランティア旭川事務局
 TEL 0166-31-3016 FAX 0166-31-3310
 E-mail: kagakukan@city.asahikawa.hokkaido.jp
 URL: <http://asascience.blog.fc2.com/>

2 平成28年度従事者数 半日単位

月	案内説明員	事務局		特別学芸員	計
4月	199人	22人	42人	80人	343人
5月	210人	22人	41人	71人	344人
6月	229人	22人	47人	104人	402人
7月	246人	22人	53人	157人	478人
8月	235人	22人	53人	84人	394人
9月	228人	22人	45人	89人	384人
10月	199人	22人	50人	68人	339人
11月	193人	22人	35人	97人	347人
12月	204人	22人	32人	82人	340人
1月	172人	22人	40人	72人	306人
2月	183人	22人	31人	71人	307人
3月	218人	22人	49人	71人	360人
計	2,516人	264人	518人	1,046人	4,344人

3 活動の内容

(1) 概要

科学館の運営・事業等の支援	常設展示機器運営・サポート・展示案内・説明，レファレンスルーム管理，ミュージアムショップの一部運営，他。
自主事業の企画・実施	「科学で遊ぶ夏・冬」の実施，「日曜日も科学館」，「特別博士」，「大人もこどももワークショップ」開催，「青少年のための科学の祭典」の開催支援，ミュージアムショップの運営（科学館1階ミュージアムショップの一部で科学関連商品を販売。取扱商品7種程度），教育大学旭川校等からの学生ボランティア受入。 ※科学で遊ぶ夏・冬はⅡ-7「共催事業」参照
ミュージアムショップの運営	科学館1階ミュージアムショップの一部でオリジナル商品を販売。

(2) 自主事業詳細

ア 日曜日も科学館「ワークショップ」

簡単な科学実験や工作などのワークショップを主に未就学児・小学生を対象に日曜日、館内の様々なスペースを活用して開催しています。

内 容	参加者数	開催日
誕生星座を作ろう，ぴよんぴよんかえるを作ろう，新幹線を作ろう，クリスマスツリーをつくろうなど	2,576人	主に毎日曜日 (合計53回)

イ 夏休み大人もこどももワークショップ

子供から大人まで楽しめる工作

内 容	参加者数	開催日
木の自由工作 (6人)，スノードーム (20人)，星座盤 (10人)，プロペラカー (11人)	47人	7月17日

ウ 冬休み大人もこどももワークショップ

子供から大人まで楽しめる工作

回	内 容	参加者数	開催日
1	スノードーム	10人	12月25日
2	木のストラップ	9人	12月25日
3	星座盤	8人	12月25日
4	ミニ門松	9人	12月25日
5	プロペラケーブルカー	11人	12月25日
6	R V ゴーグル	4人	12月25日

エ 特別博士

その日現れた「博士」が不思議で楽しい体験や実験を紹介します。

回	内 容	対 象	参加者	開催日
1	石の観察	どなたでも	6人	7月2日
2	V R ゴーグル		3人	7月17日
3	電子工作 (オルゴール)		13人	8月10日
4	天体観測		15人	10月1日

オ コズミックカレッジ

回	内 容	参加者数	開催日
1	モデルロケットの製作	6人	8月6日
2	ゴム動力飛行機の製作	8人	8月7日

カ 販売促進

内 容	参加者数	実施回数	延べ参加者数
科学の理解・普及・学習を促進するオリジナル商品の開発と販売	18人	9回	248人



日曜日も科学館



コズミックカレッジ

IV 旭川市科学館利用案内（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

1 観覧料

中学生以下無料です。大人・高校生の方が博物館の常設展示、科学館の常設展示室・プラネタリウムを御覧になるときは、次の観覧料が必要になります。

博物館	科学館		観覧料（円）			
	常設展示室 （1日）	プラネタリウム （1回）	大人		高校生	
			個人	団体	個人	団体
	●		400	320	250	200
		●	300	240	200	160
	●	●	500	400	300	240
●			300	240	200	160
●	●		500	400	300	240
●		●	400	320	250	200
●	●	●	700	560	450	360

※団体料金は、同じ料金の方が20名以上の場合です。

※次に該当する方は、観覧料が免除となります。（受付にお申し出ください。）

- ① 旭川市内在住の満70歳以上の方（科学館は鷹栖，東神楽，当麻，比布，愛別，上川，東川，美瑛各町在住の満70歳以上の方も）
- ② 身体障害者手帳・療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と介助者（介助対象者と同人数まで）
- ③ 介護保険法に定める要介護者の方と介助者（介助対象者と同人数まで）
- ④ 学校の児童生徒等を引率する教員又は一般団体引率者の方※旭川市，鷹栖，東神楽，当麻，比布，愛別，上川，東川，美瑛各町の高校に通学又は在住する高校生20名以上の団体は，科学館のみ観覧料を5割減額します。

次のパスポートをお買い求めいただいた方は、利用開始された日から1年間、対象施設を何度も御覧いただけます。

種類	対象施設	料金（円／枚）	
		大人	高校生
科学館パスポート	科学館の常設展示室とプラネタリウム	1,000	600
博物館・科学館 パスポート	博物館の常設展示 科学館の常設展示室とプラネタリウム	1,400	900
動物園・科学館 パスポート	旭山動物園 科学館の常設展示室とプラネタリウム	1,820	/

※上記パスポートは科学館の受付（動物園・科学館共通パスポートは旭山動物園のチケット販売所でも）又は市内公共施設の売店などでお買い求めいただけます。また、博物館の受付では博物館パスポートと博物館・科学館パスポートの2種類のみお買い求めいただけます。

なお、特別展につきましては、その都度教育委員会が定める額となります。

2 開館日等

(1) 開館日数

開館日は319日間、休館日は46日間（うち、保守点検休館日は8日間）

(2) 休館日

毎週月曜日（当該日が祝日に当たるときは、休日を経過した最初の日。ただし6月から9月の期間を除く。）

年末年始（12月30日から翌年の1月4日）

7月及び8月を除く月末の平日（保守点検休館日、職員は勤務日となる。）

(3) 臨時開館日

(2) 休館日のうち、5月2日（月）、12月29日（木）、1月2日（月）及び3月31日（金）

(4) 開館時間

開館 午前9時30分

閉館 午後5時（観覧のための入館は午後4時30分まで）ただし、8月11日～15日は午後8時まで（入館は午後7時30分まで）延長するほか、必要なときは全部又は一部の開館時間を臨時に延長します。

(5) 交通のご案内

バスを御利用の場合

JR旭川駅前「27番のりば」から旭川電気軌道バス82番線「南高行」又は84番線「ひじり野1の1行」、または「17番のりば」から旭川電気軌道バス33番線「東光16条5丁目行」乗車「科学館前」で下車します。

JRを御利用の場合

JR旭川駅から徒歩25分又は、JR旭川四条駅から徒歩15分かかります。

高速道路を御利用の場合

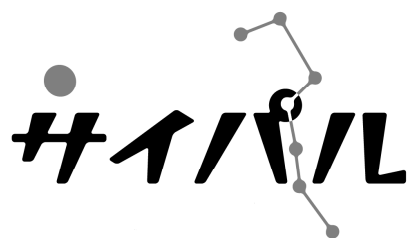
道央自動車道旭川鷹栖I.C.から25分又は、道央自動車道旭川北I.C.から車で約45分かかります。

飛行機を御利用の場合

旭川空港より車又は旭川電気軌道バス空港線「宮前通東」まで約40分かかります。

(6) 周辺地図





旭川市科学館の愛称「サイバル」の由来

「サイバル」とはSCIENCE(科学)とPAL(仲間、友達)を組み合わせた言葉です。また、
いろんな科学の彩りに出会える絵の具を散りばめたサイエンスパレットの略です。

新しい科学館の建設地の北彩都(きたさいと)あさひかわの「彩」もイメージしています。科学に親しみ、科学を通して交流の輪が広がってほしい、そんな願いが込められています。



旭川市科学館・マスコットキャラクター 「コロツ・クル」

地球上初めての生命「単細胞」が集まる様子をモチーフに、古くから欧米では「学問の神様」として扱われ、アイヌの人たちには「森の守り神」として敬愛されたフクロウを組み合わせた架空のキャラクターです。

コロツ・クルは、アイヌの伝承に登場するコロポックルからネーミングされました。

平成29(2017)年
旭川市科学館報 Vo1.9
平成29年10月発行

発 行 者 旭川市科学館
旭川市科学館 〒078-8391 旭川市宮前1条3丁目3番32号
TEL 0166-31-3186 FAX 31-3310
ホームページ <http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/science/>
メールアドレス kagakukan@city.asahikawa.lg.jp
